

学習指導案の項目及び一般的な形式（例）

第○学年○○科学習指導案

平成○年○月○日○曜日 第○校時  
○年○組 児童（生徒）数○名  
指導者 ○○ ○○ 印

1 単元名（題材名、主題名）

2 単元について

○単元（題材）観

学習指導要領を踏まえ、この単元について、単元の目標や内容に即して具体的に記述する。

○児童（生徒）観

この単元に関係するこれまでの既習事項やその定着の状況を、前単元までの評価、事前テスト、アンケートの結果などを分析し、その状況を具体的に記述する。

○指導観

児童生徒の学習状況を踏まえて、本単元で確実に基礎・基本を身に付けさせるため、学習展開や授業方法の工夫、評価の進め方、指導上の留意点などを具体的に記述する。

授業参観、授業分析・検討の視点

3 単元（題材）の目標

学習指導要領に示された目標を踏まえて、本単元での到達目標を具体的に記述する。

単元の目標と評価規準  
は表裏一体

単元の内容に即した具体的な評価規準を記入する。  
教科によって、評価の観点は異なる場合がある。

4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	表現・技能	知識・理解

5 指導と評価の計画（全〇〇時間）

次	学習内容（時数）	評 価						
		関	考	表	知	評価規準	評価方法	
		◎						
		1時間の授業で重点的に取り扱う項目を◎で示す。				「4単元の評価規準」を単元計画の中に具体化して位置付ける。		

6 本時の展開

(1) 本時の目標

「3 単元の目標」を踏まえて、重点化した本時の具体的な目標を記述する。

(2) 観点別評価規準

「4 単元の評価規準」をもとに本時における評価規準を示す。

(3) 準備物

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
	<p>「努力を要する」と判断した児童生徒を「おおむね満足する」状況にする指導のポイントを明記する。</p> <p>「十分満足できる」状況の児童生徒に対する指導のポイントについても明記する。</p>	<p>重点化した目標の達成状況を本時の評価規準に照らして評価する。</p>	

← 指導と評価の一体化 →